



みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

東北を 道をつなぐ を歩く

1000⁺を超える道
ついに全線開通

環境省が、東日本大震災からの復興事業として進めてきた、みちのく潮風トレイルが6月9日に全線開通。「一本の道」になりました。

トレイルのルートは地元の人々の意見を聞いて設定され、海岸線を中心に青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの全長1025⁺の道です。

特徴は東北太平洋沿岸ならではのダイナミックな海、川、里、森と連続する美しい景観。自然と共にある人々の暮らし、積み重ねられた歴史・文化は、厳しくも豊かな自然の恵みと重なり合いながら今につながっています。歩く中で生まれる人との温かな交流も、このトレイルの大きな魅力の一つです。

ふるさと少年隊が コースを歩く

ルートが開通した同日、NPO「ぱあと」主催の「ふるさと少年隊」に参加している小中学生42人が、町内を通るルートの一部を歩きました。

隊員は小本生活改善センターから茂師海岸までの山道や海岸のコースを、ガイドや引率者の話を聴きながら歩きました。

みちのく潮風トレイルコース図



海岸線を観察する中田飛羽雅くん(左)と佐藤漣くん



コースの中には発見がいっぱい

釜津田小学校6年の中田飛羽雅くんは「歩くのはきつかったけど、景色のいい熊の鼻展望台で昼ごはんを食べられたのはうれしい」とトレイルを満喫していました。